



東春近小だより

2月 校長講話 R7.2.13

(AIによる要約を抜粋)

「子どもたちが やさしい世の中をつくる」

「横断歩道を渡るときに車が止まってくれたことがありますか？」

全国の都道府県ごとに「信号のない横断歩道で歩行者がいたときに車が止まる割合」を調査した結果を紹介します。

- ・ 全国最下位(47位) → ○山県(31.6%) (10台中3台が止まる)
- ・ ○阪府(41位) → 40% (10台中4台が止まる)
- ・ 全国1位(9年連続) → 長野県(87%) → 10台中9台が止まるという高い割合です！

校長先生は○阪生まれの○阪育ちですが、小学生の頃、横断歩道で車が止まってくれたことは一度もありません。中学・高校時代も、車が止まってくれることは一切なかったから、横断歩道は、「全ての車が通り過ぎてから渡るのが当たり前」でした。でも、最近の調査では○阪府でも40%に改善しています。

では なぜ長野県は全国1位なのでしょう？

長野県で 横断歩道で車が止まる理由 は 2つの大きなポイント があります。

1. 子供の頃からの交通安全教育がしっかりしている
 - 歩行者(特に子供)は 手を挙げて横断する 習慣がある。
2. 止まってくれた車にお辞儀(感謝)をする文化がある
 - お辞儀をすることで、ドライバーの気持ちが変わる。
 - これを見た運転手が「また止まろう」と思い、優しさの連鎖が生まれる。

先日、体育館横にある職員駐車場に入ろうとした時、前の道の横断歩道を渡ろうとする女子児童がいました。校長先生が横断歩道手前で車を止めると、その子は急いで渡り、その後丁寧に「お辞儀」をしてくれました。校長先生の車であることがわかったと、その子は笑顔で手を振ってくれたので、先生も手を振り返しました。とても明るい嬉しい気持ちになりました。

夕方、東春近保育園前の信号のない横断歩道で、1年生の男の子が横断歩道を渡ろうとしていました。先生が車を止めると、その子も道路を渡った後、とても丁寧に「お辞儀」をしてくれました。「偉いな」と思いながらその立派な姿を見ていました。

SNS上には様々な意見が書き込まれています。例えば、

- ・ 「車が止まるのは当たり前だから、お辞儀なんてする必要はない」
- ・ 「教育すべきは運転手であり、子供にお辞儀をさせる必要はない」
- ・ 「車にお辞儀なんてするのは日本だけ」

皆さんはどう思いますか？確かに 決まりでは、横断歩道を渡ろうとする人がいれば車は止まらなければならない義務はあります。でも、子供たちのお辞儀が運転手の安全に対する意識やルールを守ろうとする意識を高めているという事実があり、ちゃんとデータに表れています。

優しい世の中を作るのは、こういう小さな良い行動の積み重ねだと思います。お辞儀を見た運転手は「また止まってあげよう」と思うんだよね。こうして世の中に優しさが広がっていくといいよね。

今 横断歩道で手を挙げて渡ったり、車にお辞儀をしたりする ことが 当たり前の行動 になっている皆さん。皆さんが大人になって車を運転する時、必ず横断歩道手前で車を止めてあげる運転手になれるはず！これが「優しさの連鎖」につながっていきます。

長野県はこれからも「優しい県」として全国1位を守り続けて欲しい！みんなの力で 優しい世の中を作っていこう！

長野県がずっと全国1位であり続けるために、今皆さんが行っている優しい行動を是非続けてほしいと思います。

「子供たちが大人になったとき、優しい運転手になること」が、この国の未来を明るいものにしていくと先生は思います。

教室に帰ったら担任の先生に「横断歩道を渡った子供がお辞儀してくれた時、先生はどう感じますか？」と聞いてみましょう！



学校評価アンケートへのご協力 ありがとうございました

アンケート調査の集計と、記述部分に書いていただいたご意見等についての回答を掲載します。

【学校評価アンケート 記述部分】

- 失敗しても大丈夫、やってみよう という呼びかけが、子供の意欲から自信や成長に繋がり、素晴らしいと思いました。自主性を大切にしているところが良いと思います。
- 行事や児童会など、忙しい日々が続いていますが、楽しんで取り組み充実している様子が伝わってきます。行事を通して、とても学年のまとまりが出てきていると感じます。ありがとうございます。
- オクレンジャーでの欠席連絡ができるようになったことが良かった。どんどん紙ベースからシステム化(データ化)できるものはしていく方向性がありがたい。
- 音楽会での湯澤かよこさんとのサプライズでの共演や、先生方の演奏がとても印象的でした。大人が生き生きとした姿を見せることの大切さを親としても感じさせられました。
- 子どもたちが「Hello未来の君へ」の楽曲製作に関われたことは、とても貴重な体験だったと思います。今後も大切に歌い継いで欲しいです。
- 老松場や森を使った野外活動などは、とても良いと思う。子どもたちが主体的になり、考え失敗したり工夫したりと生きた学びになりそう。近くの自然で身体を使いながら学ぶ機会が増えると子

どもも喜びそう。

○担任の先生のご指導が素晴らしく、クラスみんな仲良く、自分らしさも発揮でき、本当にありがたく感じています。学校行事も工夫されており、学校運営にも感謝しています。ありがとうございます。

学校や職員の教育活動へのご理解や励ましの言葉をいただき、心より感謝申し上げます。保護者の皆様のご理解とご協力あつての教育活動です。この言葉を励みに、今後も努力していきたいと考えております。

学校行事については、「大玉送り、綱引き、選抜リレー等、全校でやる競技や、紅白で競い合うことも取り入れた運動会にしてほしい」「子どもたちが意欲的に練習に取り組めるような音楽会にしてほしい」というご意見をいただきました。

文部科学省から、標準授業時数を上回る学校には行事の見直しや点検を実施するよう指導されています。通常の授業時数の中で練習できる範囲の内容で、運動会や音楽会を行っていく必要があります。児童が目当てをもって取り組み、その一部を保護者の方に公開するという意図で行事をおこなっていることをご理解いただきたいと思います。

「学校生活の中で、子どもたちの意見が大切にされていないと感じた」「先生の話を理解していない子がいるのに話が進んでしまったり、大切なことが子どもたちによく伝わらないまま後から訂正したりすることがあるとので、もう少し丁寧に見ていただきたい」という内容のご意見がありました。

子ども達一人ひとりの話にじっくり耳を傾ける時間として、一対一で面談する「ヒガハルタイム」を今後も大切に運用していきます。また、学級の時間等に子ども達同士が対話して意見を出し合い、よりよい学校生活を一緒に作っていけるよう努力してまいります。

学校からの連絡や情報の発信については「オクレンジャーは出欠やアンケートなどもっと活用できる」「学校からのおたよりでは学校生活の様子が伝わってこない」等のご意見がありました。

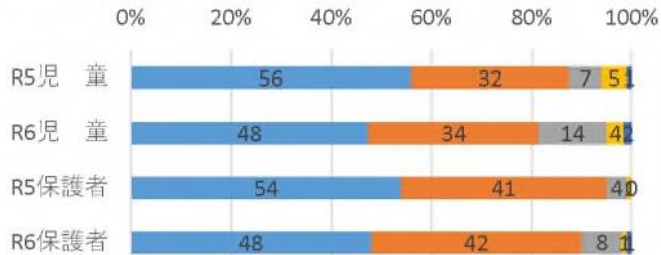
オクレンジャーにて学年だよりや学校からのお知らせを送っております。学校での様子がよりわかりやすく伝わるよう、学級・学年だよりの内容を工夫してまいります。またオクレンジャーのより有効な活用法、情報発信の仕方などについて、検討し取り入れて参ります。

保護者の皆様のご意見を真摯に受けとめ、今後の学校運営に活かしていきたいと思えます。ご意見、ご質問などがありましたら、遠慮なく担任や学校までご連絡いただきますようお願いいたします。

児童・保護者によるアンケートをまとめ、考察しましたので報告いたします。(数字は% 昨年度の結果と比較して考察)

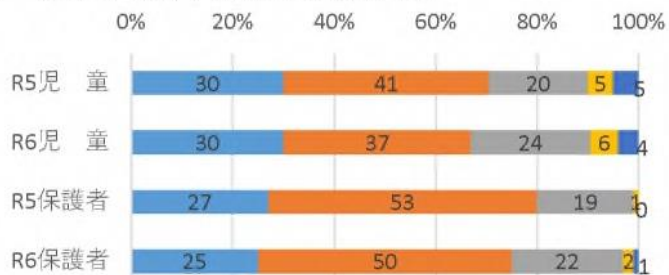
■ ア: そう思う ■ イ: どちらかと言えばそう思う ■ ウ: あまりそう思わない
■ エ: まったくそう思わない ■ オ: よくわからない

1 楽しく学校生活を送れている。



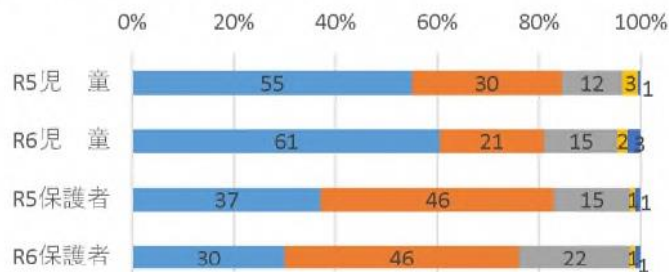
児童・保護者とも肯定的な回答が昨年度より減少し、否定的な回答が増加しています。なぜ楽しくないのか、児童にとっての「楽しい学校」とはどのような学校か、「楽しい学校」にするためにはどのような取り組みをすればよいか、児童とともに考えていきたいと思います。

2 自分の考えや気持ちを話せる。



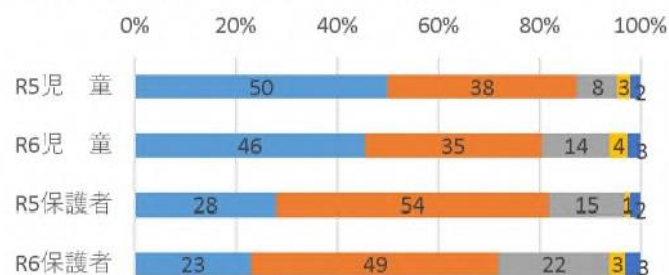
児童・保護者とも肯定的な回答が昨年度とほぼ同じです。「伝え合い」については、本校のグランドデザインに今年度のテーマとして取り上げ、「間違いや失敗をおそれない、異なる考えを認め合う」「必要感を大切に話し合い」「相手意識をもった『聴く』『話す』」などを大切に取り組んできましたが、まだまだのようです。聴く力・表現力の育成とともに、さらに開かれた学級づくりに取り組んでまいります。

3 あいさつができています。



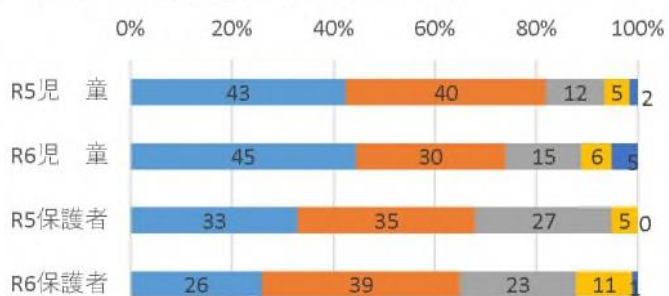
昨年度と同様、「そう思う」の割合が児童と保護者の間で大きく開き、児童は「あいさつをしているつもり」と思い、保護者は「あまりできていない」と感じているようです。「まだまだ」と感じている職員も多く、あいさつについて職員間や児童と職員の間で共通理解を図って課題として取り組み、あいさつが響き合う学校・地域をめざします。

4 授業の内容を理解できている。



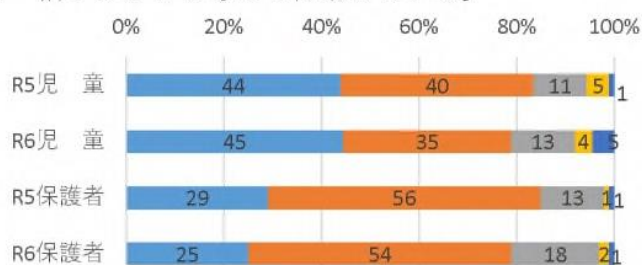
児童・保護者とも肯定的な回答が減少しています。単元テストや学力調査の結果などを参考にしながら、どのような点につまずいているのか明らかにし、個に応じた学習支援や授業改善に取り組んだり、授業における振り返りを大切にししたりしながら、児童が「できた」「わかった」を実感できる学習を積み重ねていきます。

5 家での学習を進んでやっている。



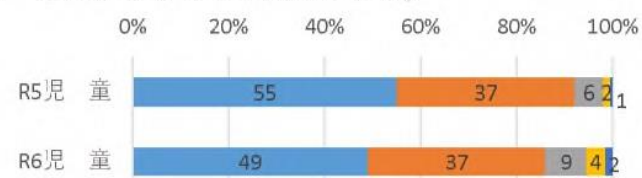
児童・保護者ともに肯定的な回答が減っています。家庭学習のあり方や取り組み方、内容・量などについては、考え方が様々だったり、発達段階に応じて変わったりするので、職員間での共通理解や児童・保護者への十分な説明を行った上で進めていく必要があると考えます。

6 相手のことを考えて行動している。



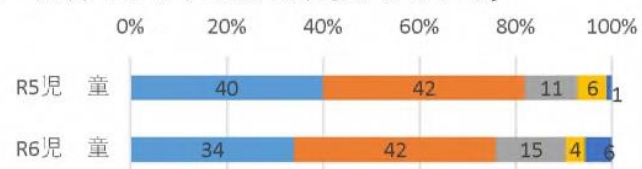
児童・保護者とも肯定的な回答が少し減少しました。多くはありませんが、児童の間に人間関係のトラブルも発生しているようです。今後も児童同士がかかわり合って学習する機会を大切にし、日々の生活の中でも相手を思いやる心の育成を図るとともに、安心して生活できる学校・学級づくりを進めてまいります。

7 きまりを守って生活している。



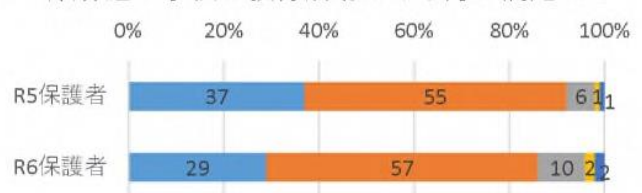
昨年度と同様、児童の肯定的な回答が多く、きまりを守っているという意識のようですが、廊下歩行など実際には守れていないこともあります。職員が共通意識をもって児童に接し、できていることとできていないことを根気よく知らせたり、きまりの意味を伝えたりして、より良い集団生活のためにすべきことを一緒に考えていきます。

8 無言ですみずみまで掃除をしている。



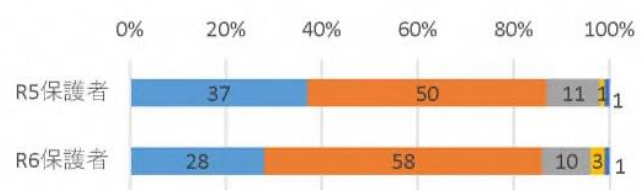
「決まりを守る」と同様に肯定的な回答が多いですが、昨年度よりやや減少しています。「隅々まできれいにしよう」という意識の現れかもしれません。清掃については、方法の指導だけでなく、毎日使っている校舎に対する感謝の気持ちや働くことの良さなどの意識、身支度や無言清掃などの取り組む姿勢などについても十分指導する必要があると考えています。

9 東春近小学校の教育活動のあり方に満足している。



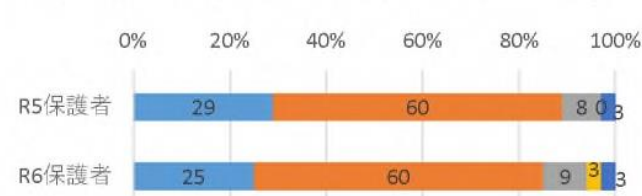
本校の教育活動のあり方について、9割近くの保護者が肯定的に捉えています。昨年度より減っています。アンケートの記述から読み解き、学校運営の参考にさせていただきます。また、引き続き、学校方針や生活の様子について積極的に発信し、家庭と連携しながら、教育活動の充実を図っていきます。

10 必要な情報が、学校から提供されている。



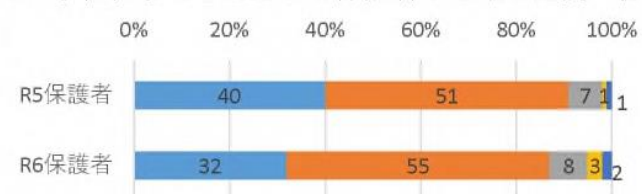
昨年度と同様、9割近くの保護者が肯定的に捉えています。お便りや連絡など、オクレンジャーを通して保護者や児童への必要な情報が提供できるよう努めていることの現れと考えていますが、「まだ足りない」というご意見もいただいています。必要な情報やより伝わりやすい方法などについて検討し、一層の情報発信に努めてまいります。

11 保護者や地域の要望に迅速に対応している。



昨年度約9割だった肯定的な回答がやや減少しました。日頃から迅速な対応を心がけていますが、不満を感じている方もいます。今後もより迅速で丁寧な対応を心がけていきます。

12 学校行事などを通じて保護者や地域と連携・協力し、児童を育てようとしている。



9割近くの保護者が肯定的に捉えています。アンケートの記述欄には、学校行事に関して肯定的・否定的両方の意見があり、大きな関心事と捉えています。今後も学校行事の意義や内容について家庭や地域への説明を十分行い、連携・協力をお願いしていきます。

児童総会 バトンは6年生から 5年生へ

2月6日（木）に児童総会がありました。5年生の新役員が3～6年生の前で自己紹介をしました。大勢の人前に立つ初めての機会に緊張した面持ちでしたが、堂々と話すことができました。6年生から委員会ファイルを受け取り、今日の朝6年生から委員会の引き継ぎとなる打ち合わせをしました。まずは20日（木）にある準備児童会に向けて本格的に動き出していきます。5年生は分からないことや不安なことがあるかと思いますが、みんなで協力し合って頑張っていきたいと張り切っています。



体罰に関するアンケートへの ご協力ありがとうございました

児童、保護者の皆様からの回答の結果、体罰であると判断された事例はありませんでした。今後も子どもたちが安心できる学校になるよう、努力してまいります。心配なこと、お気づきの点など、お気軽にご相談ください。

長野県では学校生活に関する様々な相談の窓口を設けています。学校生活のこと、いじめや体罰のこと、友だちのことなど、相談を受け付けています。

学校生活相談センター ☎0120-0-78310
【24時間子どもSOSダイヤル】

長野県子ども支援センター ☎0800-800-8035
【子ども専用ダイヤル】

卒業式・入学式について

卒業証書授与式 3月15日（土）
令和7年度入学式 4月 4日（金）です
いずれも全校児童が参加して、午前中だけの開催です。
給食はありません。

下校時刻は 3月15日 1～5年 11:55
6年生 12:15
4月 4日 2～6年 12:00
1年生 12:20

という予定です。よろしくお願いします。

3月の主な予定

- 5日（水） 6年生を送る会
民生児童委員懇談会
- 6日（木） 5時間授業 下校 15:15
- 7日（金） 5時間授業 下校 14:45～地区毎
地区子ども会 集団下校
- 10日（月） 5時間授業 下校 15:15
- 11日（火） 5時間授業 下校 15:15
- 12日（水） 5時間授業 下校 15:15
- 13日（木） 5時間授業 下校 15:15
- 14日（金） 5時間授業 下校 15:15
終業式 卒業式前日練習
- 15日（土） 卒業証書授与式
- 3/16～4/3 春休み
- 28日（金） 新年度準備 新5・6年生登校

伊那市立東春近小学校
平澤真美（教頭）
TEL 0265-72-3223
FAX 0265-72-3083

